

令和2年度 建築配管作業 1級学科解説

〈1級〉

【A群（真偽法）】

- 1 低圧式ガス溶接器B形の火口番号は、その火口で溶接できる軟鋼板板厚を示している。
× 【解説】 標準圧力で使用した場合の1時間あたりの燃料ガス消費量を示している。
- 2 塩化ビニルライニング鋼管及び鋳鉄管を切断するには、ガス切断が適している。
× 【解説】 塩化ビニルライニング部が熱で溶解、変形を生ずる可能性があるため適さない。また、鋳鉄は黒鉛を含み、余熱が多く必要なため適しているとは言えない。
- 3 公共建築工事標準仕様書によれば、水圧試験における水道直結系統の試験圧力は、水道事業者の規定がある場合を除き、配管の最低部において最小1.75MPaとする。
○（設問のとおり）
- 4 給水用配管において、屋内のポンプ廻りの防振継手は、一般に、保温を行わない。
○（設問のとおり）
- 5 アーク溶接機において、一次巻線の電圧と二次巻線の電圧を比較すると、アークを持続させるために、一次巻線の方を低くしている。
× 【解説】 一般に二次巻線の方が低い。
- 6 水頭10mに相当する静水圧は、0.098MPaである。
○（設問のとおり）
- 7 玉形弁は、弁の構造上、仕切弁に比べて管内の液体の流れに対し抵抗が大きい。
○（設問のとおり）
- 8 グラスウールは、ロックウールよりも耐熱性に優れている。
× 【解説】 耐熱温度について、一般的にグラスウールは250～350℃程度、ロックウールは600℃程度なのでロックウールの方が高い。